

平成 23 年 11 月 7 日

各 位

上場会社名 株式会社ブイ・テクノロジー
代表者 代表取締役社長 杉本 重人
(コード番号 7717)
問合せ責任者 広報 IR グループ長 河原 拓
(TEL 045-338-1980)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 8 月 5 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1 株当たり通期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	23,000	2,700	2,700	1,600	34,193.87
今回発表予想 (B)	14,800	1,000	1,000	600	12,822.70
増減額 (B-A)	▲8,200	▲1,700	▲1,700	▲1,000	▲21,371.17
増減率 (%)	▲35.7%	▲63.0%	▲63.0%	▲62.5%	▲62.5%
(ご参考) 前期通期 実績	18,835	2,404	2,354	1,580	33,821.67

修正の理由

平成 23 年 8 月 5 日の平成 24 年 3 月期第 1 四半期決算発表時の通期予想につきましては、商談中の案件が上半期中にほぼ成約の見通しが得られるとの前提で作成いたしました。

しかしながら、テレビ向け液晶パネルの需要の収縮化に伴う液晶パネルメーカーの生産調整が想定以上に長期化し、経営状況の変化とともに設備投資が大幅に延伸されたこと、また当社において前述の延伸の影響を受けた対象の多くが大型案件であったこと、により今期の通期業績は、前回の通期業績予想を大幅に下回る見込みとなりました。

因みに、第 2 四半期に受注を予定していた多くの案件は、その受注が第 3 四半期以降に

ずれ込み、納入時期が今期に間に合わないため、来期の売上計上となる見込みです。

平成24年3月期の予想につきましては上記表の通りであります。当社は今後業績改善に向け、更なる努力を重ねて参ります。具体的には、来期以降に向けて、スマートフォンの更なる高画質化に伴う中小型パネル生産関連の設備投資を見据えたスマートフォン用露光装置の更なる拡販、今後の3Dテレビ市場の拡大を見据えた3Dテレビ用フィルム生産システムの拡販、さらに有機ELパネル生産関連の設備投資を見据えた有機EL用露光装置の拡販に注力していく所存です。

※上記の業績予想につきましては、本資料発表現在、当社が入手可能な情報に基づいて作成しております。予想にはさまざまな不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素により業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

以上